



式典に向かう新成人

30議案を原案可決 平成16年度一般会計 特別会計 決算の認定は否決

12月定例会

審議の概要

平成十七年市議会十二月定例会は、十一月二十五日から十二月二十日まで、会期二六日間で開催しました。
今定例会では、新たに「平塚市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例」を制定する議案をはじめ、震災等による被災住宅用地に係る固定資産税の特例適用の申告等について期間を延長する「平塚市市税条例の一部を改正する条例」や一般会計および特別会計の補正予算案、監査委員の選任等

に同意を求める人事案件などの議案が市長から提案され、二九議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。
議員提出の会議案では、「議会制度改革の早期実現に関する意見書」の会議案を審議し、原案どおり可決しました。
なお、十月の決算特別委員会において審査を行った平成十六年度の一般会計および特別会計の決算の認定は否決し、平塚市病院事業の決算は認定しました。

一般会計補正予算 三億二四八万円余を追加

今定例会では、一般会計補正予算三億二四八万九〇〇円をはじめ、特別会計の補正予算が市長から提案されました。議会では、いずれも原案どおり可決しました。
今回の一般会計補正予算の内容は、総務費では、交通災害共済事業特別会計への繰出金を減額しま

した。民生費では、社会福祉基金へ積み立てるための指定交付金を追加計上し、国民健康保険事業特別会計などへの繰出金を減額しました。また、介護保険制度改正による地域包括支援センター運営協議会準備委員会等の経費を計上するとともに、生活保護法に基づく扶助

後藤輝彦議員 監授褒章授与される

後藤輝彦議員は平塚市議会議員として、多年にわたり地方自治の育成・発展に貢献したことが認められ、このたび監授褒章が授与されました。議会では定例会の初日、平塚クラブの陶山豊彦議員が代表して祝意を表する演説を行い、その栄をたたえました。

新年のごあいさつ

市議会議長 伊藤 裕



新年明けましておめでとうございます。
さて、我が国は人口減少社会を迎えました。この減少は、人口構成の急速な高齢化を伴うことか

ら、経済・社会にさまざまな構造的変化をもたらします。国・地方ともにこの変化への早急で適切な対応が求められます。このような状況下において、本市では昨年四月から第五次行政改革がスタートし、行財政の健全化に向けた取り組みが行

紙面の構成のご案内

12月定例会 議案の審議結果	1面
行財政全般	2面
まちづくり	3面
福祉	4面
環境・経済	5面
決算〈決算特別委員会〉	6面
発言通告	7面
安心安全・教育	8面